事前課題 No.3

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・テキスト「第 5　リハビリテーションの過程」を読み、リハ職が実施する評価及びアプローチについて指定のワークシートにまとめる。

教科書 69 ページ　1）障害別評価（69 ページ）より「機能障害」「能力障害」「環境因子」に関する評価項目を抜き出して記載してください。

機能障害に対する評価項目

能力障害に対する評価

環境因子に対する評価

教科書（69 ページから 70 ページ）２）リハビリテーションの時期別評価　より、

「急性期」「回復期」「維持期（生活期）」それぞれの時期における評価について抜き出して記載してください。

急性期

回復期

維持期（生活期）

教科書（73 ページから 74 ページ）を参考に以下の内容を埋めなさい。

４．評価の内容

リハビリテーションにおける運動機能の三大評価を抜き出してください。

ADL（日常生活活動）検査の順序を抜きだしてください。

訓練室や病室での評価	実際に行っている評価	ADL のゴール

障害レベル別の精神的評価法について、74 ページより抜きだしてください。

機能障害	
能力障害	
環境面	

教科書（75 ページから 76 ページ）を参考に　５．ゴール（目標）設定　について括弧を埋めなさい。

　ゴール設定では患者・障害者の（＿＿＿＿＿）・（＿＿＿＿＿）評価から問題点を抽出し、これに（＿＿＿＿）因子と（＿＿＿＿）因子の評価も含めて検討する。ゴールは、原疾患、障害の種類によって異なるが、年齢、生活歴、家族構成、経済面などの（＿＿＿＿）因子の占めるウエイトも大きい。

教科書（76 ページ）より　６．プログラムの作成　の原則をカギ括弧に埋めなさい。

プログラム作成は「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」が原則である。

教科書（76 ページから 78 ページ）を読んで　７．リハビリテーション過程とクリニカルパス　について、括弧を埋めてください。

　医療の（＿＿＿＿＿）・（＿＿＿＿＿）が目的であるクリニカルパスは、日本では病院の（＿＿＿＿＿＿）や入院期間の（＿＿＿＿＿）を背景に急速に広まっている。

　（＿＿＿＿＿＿＿）ゴールを設定し、それを短期間に（＿＿＿＿）するというクリニカルパスの目的は、リハビリテーション過程そのものといっても過言ではない。